







今、近江米で問題になっている 品質を落とす玄米の種類と発生要因

種 類		解 説	主な発生要因
未 熟 粒	<p>乳白粒</p>  <p>(整粒)</p>	<p>胚乳部に白色不透明な部分がある。登熟初中期にデンプンの供給がおいつかず、部分的にデンプンが不足して発生する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 籾数が多すぎる ② 登熟の初期の高温、日照不足
	<p>背白粒</p> 	<p>米粒の背部に白色不透明な部分がある。成熟期後半にデンプンの充実が阻害されて発生する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ③ 登熟期の稲の活力低下（出穂前後～成熟期までの水不足、生育後半の栄養不足） ④ 登熟の中後期の高温
	<p>基部未熟粒</p> 	<p>米粒の基部に白色不透明の部分がある。成熟最終期にデンプンの充実が阻害されて発生する。</p>	
	<p>その他未熟粒</p>  <p>(整粒)</p>	<p>充実の不十分な粒で、扁平で厚みが薄いもの、縦溝が深いもの、皮部の厚いもの等がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 白未熟粒と同じ
被 害 粒	<p>胴割粒</p> 	<p>米粒に亀裂がある。気象条件等による吸水や放水のために粒内水分が不均一となりゆがみを生じて発生する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 刈り遅れ、早期落水、急激な乾燥 ⑦ 出穂後10日間の高温
着 色 粒	<p>カメムシ類による斑点米</p> 	<p>乳熟期から黄熟期にかけてカメムシ類による吸汁被害を受け、吸汁痕の周りが、褐変あるいは斑紋となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ けい畔雑草でのカメムシの増殖 ⑨ 適期防除の不実施

近江米品質向上のためのチェックシート

- 裏面で自分の米の品質低下要因を確認し、要因に応じた技術対策を実践しましょう
- 内に日付を入れてチェックしましょう（水性ペンで記入してください）

1 「未熟粒」を減らし、充実をよくするために ★過剰な籾数を防止し、登熟期の稲体の活力を維持する

①土づくり・施肥

- | | |
|---|---|
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 土づくり肥料を入れる（土壌診断の実施） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 深く耕す（15 cm以上を目標） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 基肥、追肥は適正な量にする（地力の高い地域のコシヒカリでは減量する） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 生育に基づき穂肥を施用
（籾数過多、倒伏を防止するため、幼穂を確認し葉色、株張りに応じて穂肥を施用する。
高温時における登熟期の栄養不足を回避するため、必要量をきっちり施用する） |

②植え付け

- | | |
|---|--|
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 遅植え（コシヒカリでは、栄養生長期の高温で生育過多・籾数過剰となりやすい
5月上旬植えは行わず、5月中下旬植えを行う） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 細植え（1株あたり3～4本を目標） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 疎植（湖辺50～60株/坪、平坦部60～70株/坪が目安） |

③水管理・防除

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 早めの溝切りと中干し（目標穂数の8割となったら遅れず中干しを行う） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 出穂前後各3週間は常時湛水（水を切らさない） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 発生予察に基づき防除（いもち病、紋枯病） |

2 「胴割粒」を減らすために

- | | |
|---|----------------------|
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 収穫5日前までは落水しない |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 適期収穫（刈り遅れない） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 適正な乾燥（高水分籾を急激に乾燥しない） |

3 「カメムシ類による斑点米」を減らすために

- | | |
|---|-------------------------------|
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | けい畔2回連続草刈り（出穂2～3週間前と出穂期の2回連続） |
| <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 | 品種別に適期に防除（特に中生品種で被害が多いところは注意） |